

2017年クラウドファンディングのご報告とお礼

◆クラウドファンディングに挑戦

安房地域の高校生によるウガンダ支援活動が23年目を迎えた2017年、現地の子どもたちの送迎や食糧・生活用品等を運ぶ活動車両が故障し、ウガンダ意識向上協会(CUFI)代表のスチュアート・センパラ氏より車の購入資金の支援依頼を受けました。毎年支援バザーや寄付金を合わせて10~20万円を送金していましたが、それでは間に合わず、また緊急事態であることから、初めてクラウドファンディングによる支援金の募集に取り組むことにしました。

NPO法人安房文化遺産フォーラムでは、センパラ代表との協働プロジェクト「ウガンダの子どもたちのため、活動車両を買い替えよう」を企画し、ご協力を呼びかけました。

◆クラウドファンディングの経過

昨年約2か月間にわたり新聞やフェイスブック、ロコミ等によりご協力を呼びかけたところ、安房地域内外から温かい支援の申し出や応援の言葉が届きました。

また、二組よりチャリティ企画の申し出がありました。地元の喫茶店からウガンダ産コーヒー豆のチャリティ販売と、闘病中の画家の家族と友人からチャリティ油彩画展が提案されました。

◆クラウドファンディング実績報告

- ・募集期間:2017年8月21日~10月31日の72日間
- ・目標金額:1,200,000円
- ・ご支援金額:1,346,000円
- ・ご支援者数:210名



ギューギュー詰めに乗る子どもたち



川を渡って支援先へ



水牛と衝突した活動車両

チャリティ企画が追い風となって、最終日の10月31日には、目標金額を上回る130万円を超える温かいご支援をいただきました。

支援金は、車の購入費および保険代、送金の手数料等として活用させていただきました。現地では念願のトヨタのハイエースの中古車両(8人乗り 1996年式)を購入することができ、食料の運搬や村と学校を結ぶ足として活躍しています。

ご支援いただいた皆様方にご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

NPO安房文化遺産フォーラムでは、安房の高校生が続けてきたウガンダ支援・交流をこれからも応援し、市民が主役になる地域づくりに活かしていきたいと思っています。

今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。